



市民病院

ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

認定看護師を活用してください

認定看護師は、特定の看護分野において熟練した看護技術と知識を用いて、高い水準の看護を実践することを（公社）日本看護協会から認定された看護師です。

現在21分野があり、市民病院には3月現在で7分野9人の認定看護師がいます。

入院患者だけでなく、市民の皆さんへの講演会なども無料で実施していますので、是非活用してください。

●皮膚・排泄ケア：清政

褥瘡などの創傷管理やストーマ、失禁などの排泄管理や患者家族の自己管理とセルフケア支援など

●摂食・嚥下障害看護：内川、八木、坂本

摂食・嚥下機能の評価および誤嚥性肺炎、窒息、栄養低下、脱水の予防や適切かつ安全な摂食・嚥下訓練の選択および実践など

●不妊症看護：鈴木

生殖医療を受けるカップルへの必要な情報提供および自己決定の支援など

●糖尿病看護：岡田

血糖パターンのマネジメント、フットケアなどの疾病管理および療養生活支援など

●緩和ケア：田淵

とう痛や呼吸困難、全身けん怠感、むくみなど苦痛症状の緩和や患者家族への喪失と悲嘆のケアなど

●認知症看護：川上

認知症の発症から終末期まで各期に応じた生活環境の調整や家族支援および患者の意思・権利の擁護、行動心理症状の予防・緩和など

●感染管理：生田

医療関連の感染率・使用比の算出および低減に向けた教育と指導や感染予防のための対策・指導など



碧南の歴史へのいざない

No.23 知多半島への交通、今むかし

碧南市と半田市を結ぶ海底トンネルがありますが、最初にできた半田方面への西行きトンネルは、昭和48年（1973年）に完成しました。それ以前はどういう方法で対岸の知多半島に渡っていたのでしょうか。

かつて衣ヶ浦周辺の港は、この地方の特産物である酒や味噌、瓦、綿、木綿を運ぶ多くの船が行き交いました。物流以外にも人が行き来するための渡し船が運航され、明治8年（1875年）ごろに大浜・半田間、明治15年（1882年）に松江・乙川間、その後、松江・亀崎間、大浜・武豊間も就航しました。

しかし、この地域の産業の発展に伴い、船の運航だけでは限界を迎えました。新たな交通手段の要望もあり、昭和31年（1956年）に夢のかけ橋といわれた「衣浦大橋」が完成しました。昭和43年（1968年）3月まで有料道路だったことを覚えている人もいます。

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

新たな交通手段ができたことで渡し船の運航は減少し、昭和44年（1969年）に大浜・半田間が廃止され、すべての渡し船はなくなりました。

この衣浦大橋の完成から17年後には、さらに新たな交通のインフラとして衣浦海底トンネルができました。現在では半田市からの東行きトンネルもできて衣浦トンネルと名を変え、衣浦大橋とともに知多半島と碧南市を結ぶ大切な交通手段となっています。



△渡し船、最後の運航（市所蔵）